

# 図書館員が行く!



～小諸市内で行われたイベントを図書館職員が体験。内容を報告します～

手作り品やこだわりの食品などを製作・販売している人たちが出店するイベント「小諸まちなかマルシェ」がこのほど本町の町屋館で開催されました。

中心になって準備を進めたのは、市内でカフェを営んでいる永井美香子さん、手作りした作品を市内のお店で委託販売している清水順子さんら。

昨年市街地で行われた商工会議所主催のイベント「信州小諸ふーどまつり」に仲間たちと参加したところ好評で、出店者からも主催者側からも継続してほしいという声があがったのだそうです。「マルシェ的なイベントは各地で開かれています、出店料が高かったり、会場が屋外で設営が大変だったりします。そうでなくて、子育てをしながら手作り品を作っているお母さんたちがもっと気軽に自己表現できる場になればと、定期開催していくことを決めました。」と永井さん。

当日会場には、市内だけでなく東信各地から40を超える個人やお店が出店。発芽玄米を使った餅や無農薬玄米のおにぎり、県産小麦を使ったパン、ヘアゴムなどの手作り品、リサイクル品、自然素材中心の編み物、日用雑貨、古本など会場内には所狭しとブースが並び、子育て世代を中心に会場内は大賑わい。中には整体体験コーナーもあって、出店者の幅の広さもうかがえました。

次回のマルシェは、市役所隣の小諸市市民交流センターを会場に4月30日(土)に開催予定。その後も、市内の他のイベントともコラボしながら通年で開催していくそうです。

